

# 文化協会だより

【発行】  
愛川町文化協会 広報委員会  
【事務局】  
〒243-0392  
愛甲郡愛川町角田 251-1  
愛川町教育委員会  
スポーツ・文化振興課内  
電話 046-285-6958

愛川の風景を舞台に踊り続けています。

## よさこいダンスチーム Funny



中央養鶏農協の広場にて

町民皆様との交流の場が閉ざされている状況にありますが、文化協会の会員はこの状況を乗り越えるため、団体ごとに特技を生かし、切磋琢磨し、皆様の期待に応えられるよう努力しておりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

「文化協会だより」を多くの方に見ていただき、ありがとうございます。これもひとえに活動を支えていただいている皆様方のおかげと感謝申し上げます。

さて、今年度も昨年度と同様に、新型コロナウイルスの影響により「愛川町ふるさとまつり」などの事業が中止となり、各団体も活動の見直しを余儀なくされました。



愛川町文化協会会長  
成瀬 和治

### 会長あいさつ

### 愛川町文化協会役員名簿

(令和2年4月1日～令和4年3月31日)

職名	氏名	所属団体
会長	成瀬 和治	マジック愛川クラブ
副会長	荒井 喜久枝	愛川華道協会
〃	原 啓祐	愛川町民謡協会
会計	山田 昌弘	愛川水石奇木会
書記	今井 ふく江	愛川茶道協会
監事	富田 茂子	みなかみ短歌会
〃	諏訪部 清江	愛川町舞踊協会
理事	松尾 洋昭	みなかみ短歌会
〃	田上 奄	愛川町写真クラブ
〃	山田 昌弘	愛川水石奇木会
〃	勝又 荘蔵	愛川町吟詠連盟
〃	鳥山 英昭	愛川町囲碁連盟
〃	長谷川 隆	愛川町民謡協会
〃	諏訪部 信	愛川さつき会
〃	澤樹 若江	愛川華道協会
〃	諏訪部 清江	愛川町舞踊協会
〃	酒井 正雄	愛川町将棋愛好会
〃	田中 美代子	愛川町歌謡協会
〃	足立原 美智子	愛川茶道協会
〃	柳川 正	マジック愛川クラブ
〃	小島 信章	愛川ばら会
〃	渡辺 淑江	神奈川ふだん記
〃	萩原 智恵子	よさこいダンスチームFunny
顧問	遠藤 理敏	愛川華道協会

### 国登録有形文化財「古民家山十郎」のご案内

古民家山十郎は、明治16年(1883年)に豪農熊坂半兵衛の邸宅としてつくられました。



昭和19年(1944年)に思想家・大川周明の所有となり、周明の没後、別の所有者を経て、昭和63年(1988年)に町の所有となりました。

古民家山十郎では、建物や庭園の観覧が行えるほか、研修や文化活動などで専用使用(建物内の貸し切り)をすることができます。

また、四季折々の催し物が開催され、桃と端午の節句、七夕の時期には、手芸サークルによる「つるし飾り」などの展示、11月には中津菊趣会による「菊花展示会」を行うほか、山十郎を活用したセミナーや講座も開催しております。

ぜひ一度、山十郎を訪れてみてはいかがでしょうか。

【開園時間】 午前9時から午後5時まで

【休園日】 毎週火曜日

【所在地】 愛川町中津 485-1

神奈川中央交通「局前」バス停下車徒歩5分

### 会員募集

現在、文化協会に所属している団体では、新規会員を随時募集しております。各団体に少しでも興味がありましたら事務局までどうぞお気軽にご連絡ください。自分の趣味や特技を活かし、充実した時間を新しい仲間と過ごしませんか。

また、当協会に加盟したい文化団体もぜひご相談ください。文化協会ではふるさとまつりでの文化芸能発表会・文化展の開催など常に躍動中です。ともに、愛川町の文化活動を、よりいっそう盛り上げていきましょう。

【申込み・問合せ】愛川町教育委員会スポーツ・文化振興課内  
愛川町文化協会事務局  
〒243-0392 愛甲郡愛川町角田 251-1  
電話 046-285-6958(直通)



### 令和3年度

#### 愛川町教育委員会表彰者の紹介

当協会から、2名の方が「令和3年度愛川町教育委員会表彰」を受賞されました。おめでとうございます。

今後も特技を活かされて、更なる活躍を期待いたします。

受賞者氏名 所属

岡本 眞智子 華道協会

神崎 久美子 歌謡協会

(順不同、敬称略)

### 編集後記

令和3年度もコロナ禍により、社会生活にも大きな影響を受け、色々な行事が中止となりました。

各団体におきましては試行錯誤しながら活動を続けております。リモートやソーシャルディスタンスなど、人々のコミュニケーションが減る世の中ですが、「文化」は心を豊かにしてくれる必要不可欠なことだと思います。

今後も「文化」の継承と共に各団体の活動に興味を持っていただける幸いです。

### 【広報委員会】

委員長

よさこいダンスチーム Funny 萩原 智恵子

副委員長

神奈川ふだん記 渡辺 淑江

委員

愛川町舞踊協会 諏訪部 清江

委員

愛川町歌謡協会 田中美代子

委員

愛川町茶道協会 足立原美智子

題字  
愛川町文化協会  
会長 成瀬 和治



### さつき会



～多彩で美しいサツキの花をご覧ください～

サツキは日本固有の植物で最大の魅力は花の美しさです。多彩で変化に富んだ品種は3千種とも5千種ともいわれています。さつき会では、春と秋の展示会、鹿沼への研修視察などを行っています。又、盆栽作りの技術向上と会員相互の親睦を図る為に定期的に講習会を行っています。

現在は、コロナ禍の為に展示会や研修視察の活動は自粛していますが、講習会は感染防止対策を講じて実施しています。来年は、今まで通り展示会が開催できるように今から準備を進め、皆様に鑑賞して頂きたいと思っています。

<会員数>17名

### 茶道協会



～「一期一会」人と人との  
出合いは一生に一度～

この2年余りはコロナ禍のため、世界中の生活が一変。茶道も常の行事が中止となり、各社中はマスク姿で粛々と日々の稽古に励むばかりでした。茶道を知らなくても一期一会という言葉は多くの皆様をご存知でしょう。茶道に限らず人生で人との出合いは一生に一度だけの機会ととらえ、主人と客お互いがそのことに精神誠意を尽くすということ。それを稽古で習います。一般に茶道と聞くと着飾った着物や立派な道具など表面だったことなどを思い浮かべられるでしょうか？実は、まず畳拭き、炭の手洗い、庭の隅々までの清め方、そういう下働きなども稽古の一環として習います。写真の掛軸「今日是好日(こんにちこれこうじつ)」は、修行された高僧が私たちに教えを指し示してください、平素の精神的日常生活に活かします。美味しい和菓子での一服はほっとします。 <会員数>68名

ど表面だったことなどを思い浮かべられるでしょうか？実は、まず畳拭き、炭の手洗い、庭の隅々までの清め方、そういう下働きなども稽古の一環として習います。写真の掛軸「今日是好日(こんにちこれこうじつ)」は、修行された高僧が私たちに教えを指し示してください、平素の精神的日常生活に活かします。美味しい和菓子での一服はほっとします。 <会員数>68名

### みなかみ短歌会



～あなたの感動を、ぜひ31文字に～

短歌は古えより和歌、和する歌、として今日も親しまれています。日本語の五、七、五、七、七のリズムが心地よく、31文字に日常の暮らしのこまをまとめるものです。花が咲いた、孫が生まれたなど喜びや自然の移ろい、悲しみや、病気の苦しみもその思いを31文字にしたため、人にも読ませ共感を得るのです。毎月1回集まり、互いの短歌を一首ずつ鑑賞し、意見を述べ合いつつ表現方法を学び直す機会を楽しんでいます。

ご参加をお待ちしています。あなたの感動をぜひ31文字に。 <会員数>15名

### 写真クラブ



～写真を撮る楽しさ、一緒に味わいませんか～

写真クラブは、発足から58年目を迎え、会員一同日々活動を行っております。撮影会は年10回程実施(毎月季節設定)、撮影後に会員の方々の写真データで個人ごとの写真添削指導を行い、個性にあった写真を指導します。写真審査会は、会員の方々の写真データ提出により、会員全員での審査を2カ月ごとに行い、審査結果写真を「写真クラブ便り」に掲載し、撮影向上に努めています。また、「写真クラブ便り」の毎月1日発行やふるさとまつり文化展、会員写真展実施、他の写真クラブ写真展との交流も行います。これからも「写真を撮る楽しさ、一緒に味わいませんか」をモットーに会員一同励んでまいりますので、ぜひ入会をお待ちしています。 <会員数>15名

### マジック愛川クラブ



～華麗で楽しいマジックショーを楽しみませんか～

昭和59年に創立したクラブで、町文化協会、町ボランティア連絡協議会、県央マジック連盟に加盟しています。毎月2回程度の例会を行い、ハンカチや新聞紙、コップ、風船、ロープなど身近な物を使ったものから、専用の道具を使ったマジックまで、会員により十八番があります。また、腹話術や南京玉すだれをお得意とする会員もおります。出演は、観客が20名位から数百名までを対象として、子ども会行事、自治会行事、小学校や幼稚園の行事、各種記念行事が多く、デイサービス等でも皆さんにマジックを楽しんでいただいています。

コロナ禍により出演回数が減っていますが、お声かけがあれば出演します。華麗で楽しいマジックショーをぜひ楽しんでください。 <会員数>10名

### 神奈川ふだん記



～「やまゆり」にあなたの記録を～

生きて行く上で「読み書きソロバン」が大切であると、古くからいられています。その中の「書く」ということを第一の目標として、その文章運動を推進しているのが神奈川ふだん記であり、その機関紙として年2回、B6判、300頁の雑誌「やまゆり」を発行しています。

あなたの父や母、子どもや孫のことを、また自分の生きてきた道の人生報告書としての記録を、つまり、あなたが生きてきた証を文章に書くこと。書くことは、読むことの力にもなります。書くこと、文章は誰にでも簡単に書けます。書くことを実践してハガキ交流も盛ん。「やまゆり」にあなたの記録を。 <会員数>117名

## 愛川町文化協会加盟団体の紹介

### 水石奇木会



～水石の観賞～

水石の観賞方法には大別して2つの方法があります。

1つめは、水盤に砂を敷いて、その上に遠山形なり水溜(みずたまり)の石を置き、時おり水を注いでながめるもので、水石本来の意味からすればこれが通常の方法です。

2つめは、石にあわせて台座を作り観賞するものです。姿石(すがたいし:動物や人型など、何かに似た形の石)などに主として使われます。

<会員数 13名>

### 吟詠連盟



～詩吟、はじめてみませんか～

当連盟は、春は4月に総会を行い、その席で続けて発表会。夏には勉強会、秋に発表会、新春には新年会を開き、その場で独吟と飲み物で喉を潤しながら交流を深め、カラオケも楽しんでいます。

町の文化芸能発表会には、各会派が出演しています。また、中津公民館、半原公民館の行事にも各教室単位で実行委員会に参加をし、発表しています。また、詩吟の普及と拡がりを目指して中津公民館で月2回の詩吟教室を開いています。2年連続で文書総会になりましたが、2022年には第50回記念発表会が開催できることを期待しています。

<会員数>28名